

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年2月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年2月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 161社 回答 154社 回答率 95.7%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	24社 15.7% (5.2)	44社 28.8% (13.6)	52社 34.0% (40.9)	26社 17.0% (27.3)	7社 4.6% (13.0)	153社	8社 5.3% (4.6)	29社 19.3% (17.8)	51社 34.0% (27.0)	35社 23.3% (26.3)	27社 18.0% (24.3)	150社
売上高	23社 15.0% (5.2)	48社 31.4% (14.8)	52社 34.0% (40.0)	22社 14.4% (23.9)	8社 5.2% (16.1)	153社	8社 5.4% (3.3)	24社 16.1% (13.2)	47社 31.5% (27.0)	39社 26.2% (25.0)	31社 20.8% (31.6)	149社
在庫数量	6社 4.1% (2.7)	28社 19.0% (18.1)	81社 55.1% (53.0)	26社 17.7% (20.8)	6社 4.1% (5.4)	147社	14社 9.7% (6.8)	21社 14.6% (16.3)	75社 52.1% (38.8)	19社 13.2% (21.1)	15社 10.4% (17.0)	144社
販売単価	1社 0.7% (1.3)	32社 21.6% (14.0)	100社 67.6% (72.0)	15社 10.1% (12.0)	0社 0.0% (0.7)	148社	2社 1.4% (1.4)	16社 11.0% (6.1)	57社 39.3% (34.5)	50社 34.5% (40.5)	20社 13.8% (17.6)	145社
収益状況 (粗利)	10社 6.6% (1.3)	41社 27.2% (15.1)	73社 48.3% (50.7)	22社 14.6% (24.3)	5社 3.3% (8.6)	151社	8社 5.4% (5.3)	19社 12.8% (8.0)	55社 37.2% (34.0)	46社 31.1% (32.0)	20社 13.5% (20.7)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	4社 3.2% (3.2)	36社 29.0% (11.9)	62社 50.0% (52.4)	15社 12.1% (23.0)	7社 5.6% (9.5)	124社	1社 0.8% (4.9)	13社 10.8% (10.6)	63社 52.5% (39.8)	27社 22.5% (25.2)	16社 13.3% (19.5)	120社
入出庫の トラック台数	6社 4.2% (2.1)	37社 25.7% (11.6)	80社 55.6% (54.8)	18社 12.5% (24.7)	3社 2.1% (6.8)	144社	0社 0.0% (0.7)	17社 12.2% (11.6)	69社 49.6% (42.9)	35社 25.2% (28.6)	18社 12.9% (16.3)	139社
	現在の景況感					計	3ヶ月後の景況予測					計
	0社 0.0% (0.7)	18社 12.3% (8.1)	79社 54.1% (46.3)	28社 19.2% (30.9)	21社 14.4% (14.1)		146社	1社 0.7% (3.5)	61社 42.7% (42.4)	68社 47.6% (47.2)	10社 7.0% (4.2)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(2月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① スクラップの高騰を受けて値上げ一色の電炉製品に対し、高炉も値上げ発表の足並みが揃い、値上げの準備体制が整ったところ。流通として3月は、採算維持のため粛々と価格転嫁の準備を進める大事なときとなる。
- ② 輸入材の円高値上げにより、国内高炉メーカーに回復の動きが見られるが、現状の需要の不透明感は長引くのではないか。
- ③ 日数が少ないこともあり、加工減となったが、全般的には横這い傾向が続いている。
- ④ 稼働日数19日ながら、売上は対前月(18日)比、好調に推移した。3月期末に向け、年度内消化物件と見られるものも散見され、先行発注の動きもありそうだ。ウォン高、円安等も値上げの環境整備に資すると見られ、足下は目立った値上げはないが、確実にGWまでには質、量ともにゆっくりではあるが、改善に向うのではないかと期待している。太陽光発電架台向けは、SD、ZAM、エコガル等の鋼板類、パイプ、ALといずれも賑わい、ちょっとしたバブル模様で、5月以降のメガ級の工事も目白押しで、新年度はピークを迎えそうだ。材工ともに値戻しの年になるかも知れない。
- ⑤ 底値感は出て来ているが、引合いは弱い。メーカーは値上げムードであるが、末端は慌てていない。値上げ時期の倒産等が出て来る可能性があるので注意したい。

中板

- ① 先高感からの仮需も一服し、販売は横這い。値上げ唱えも実需が無い中、思ったほど市場価格は上がらず、値上げ玉が入荷する中、早急な販売価格の転嫁が課題。
- ② 1月は特約店に在庫積み増し(仮需)の動きがあったが、2月中旬以降、パツタリ止まってしまった。やはり、まだ実需の回復には至っていない。

厚板

- ① 橋梁、鉄骨とも、成約残の消化であり、基調は前月と変わらず低調である。全体感としては、橋梁は関東圏のFABの手持ち工事が少ない状況であり、当面の大型鉄骨は切板に結び付くものが少なく、夏場からの需要回復に期待している状況である。市中では、高炉の値上げ表明で先高感はあるが、実需が乏しく、荷動きは低レベルで推移している。

— 舟安開金鋼

- ① 前月より2日営業日数が多い分だけ、各指標は増加した。昨年は3月から7月まで低迷した荷動きであったが、今年は昨年ほど落ち込まないと思われる。市況の値戻しも順当に推移するだろう。
- ② 建築の動向があまり見えない。アベノミクスで世の中元気になったように見えるが、まだまだ建築の方に反映されていない。

EH形鋼

- ① メーカーの値上げ玉が入荷して来ているが、販売価格はメーカー値上げ分の転嫁が出来ていない。そのため、流通は更なる市況上昇を目指す。
- ② 市況の上げのトレンドはしばらく続くと思われるが、メーカーネットの上げによるもので、需要増や需給バランスの改善によるものではないのが心配である。

異形棒鋼

- ① メーカー値上げの浸透にともない、物件引合いが減少。2月後半より低調な販売状況となってきた。価格転嫁はまだ道半ばであるが、勢いが無く、今後の採算確保は厳しくなると予想される。

平鋼

- ① メーカーが3ヶ月連続値上げを唱えるも、市中の価格転嫁のスピードは遅い。先々の需要への期待感はあるが、足下の荷動きは鈍く、それが鈍化させている要因か。スクラップ価格、円安による副資材の値上がりを考えると、当面、メーカー価格が下がるとは考えづらい。需要動向を見ながら、価格転嫁をしていきたい。

鋼管

- ① 杭関係以外は総じて低調なままである。値上げに対する流通とメーカーの意識が乖離し過ぎている。
- ② 2月の売上は低調だった。前年同月比でも、前月比でも悪く、景気回復というものは感じられない。

構造用鋼

- ① 需要環境は、自動車関連の在庫調整が進んでおり、一部の自動車大手では、生産増加の動きも見られるが、ユーザーによってバラツキがある。建設機械や産業機械関連については、一部で在庫積み増しの動きがあるが、一時的な要因であり、春先以降の不透明感は依然根強い。店売りについては、全体的な需要回復が見られない中、荷動きは昨秋以降、低調な動きが続いている。市況については、メーカーは値上げを発表し、市況底入れを期するが、需給が緩む中、価格転嫁は難しい状況にあり、現状横這いに推移している。
- ② アベノミクスに期待する、鋼材単価アップがどのようになるか心配。
- ③ 鋼材の値上げが相次ぐ中、構造用鋼も各メーカーが値上げを新聞発表したがる、実際は足下の動きが芳しくなく、値上げムードになっていない。現状が底と見ているが、今後の活況を期待する。

その他

<曲げ加工>

- ① 景気状況は、昨年末からほとんど変わらぬ横這い状態が続いている。今月はやや増加に転じたが、市場そのものは曲げ加工屋にとって好転していない。2011年3月の震災後の状況に比べても悪い傾向である。今後、時間がかかっても好転することを期待する。

<金属表面処理加工>

- ① 2月は物件物、紐付きともに計画通りとなる。スポットも小口ではあるが、引合い、受注とも安定しており、引き続き高水準で推移の予想。3月は物件物(プラント、橋梁)を中心に操業維持できそうである。原油価格高騰により、塗料を含め購入品の値上げが予想され、状況を見ながら加工費への転嫁を検討予定。